

看護師募集



私たちと一緒に
働きましょう！

お気軽にお電話ください。
TEL **082-425-1455** (代)

担当：事務局 総務課まで
※広島県福祉事業団として看護師を募集しています。
詳しくは HP の採用案内をご覧ください。



交通案内 JR西条駅から当センターへの無料送迎バスを運行しております

J Rバス：J R西条駅から「黒瀬町市飯田・呉市」行き乗車。
県立西条農業高等学校前停留所で下車。停留所から約1 kmです。
自動車等：山陽自動車道西条 IC から国道375号線を呉方面に車で約20分です。

●無料送迎バス時刻表

西条駅 ▶ 広島県立障害者リハビリテーションセンター

区分	西条駅前	栄町	市役所前	自動車学校前	卯之留(うのとめ)	国際プラザ	西農前	リハセンター
1便	9:12	9:14	9:16	9:21	9:23	→	9:27	9:30
2便	10:00	10:02	10:04	10:09	10:11	10:16	10:22	10:25
3便	10:50	10:52	10:54	10:59	11:01	11:06	11:12	11:15
4便	11:42	11:44	11:46	11:51	11:53	→	11:57	12:00
5便	13:35	13:37	13:39	13:44	13:46	13:51	13:57	14:00
6便	15:50	15:52	15:54	15:59	16:03	→	16:05	16:08
7便	16:42	16:44	16:46	16:51	16:55	→	16:58	17:00

広島県立障害者リハビリテーションセンター ▶ 西条駅

区分	リハセンター	西農前	国際プラザ	卯之留(うのとめ)	自動車学校前	市役所前	栄町	西条駅前
1便	8:40	8:43	→	8:47	8:49	8:54	8:56	8:58
2便	9:35	9:38	9:44	9:49	9:51	9:54	9:56	9:58
3便	10:28	10:31	→	10:35	10:37	10:42	10:44	10:46
4便	11:20	11:23	→	11:27	11:29	11:32	11:36	11:38
5便	13:00	13:03	13:09	13:14	13:16	13:19	13:23	13:25
6便	15:20	15:23	→	15:27	15:29	15:32	15:36	15:38
7便	16:10	16:13	16:24	16:24	16:26	16:29	16:33	16:35

○：国際プラザ経由便 ▲：土、日、祝祭日運休便

●お問い合わせ先●

広島県立障害者リハビリテーションセンター
医療センター

〒739-0036 東広島市西条町田口295-3番地
電話 (082)425-1455(代表)
FAX (082)425-1094
URL <http://www.rehab-hiroshima.org>

広島県立障害者リハビリテーションセンター

医療センター だより



No. **6**
2012.3.1



リハセンター
リニューアル 平成27年度に医療センターが新しくなります。
現在、リハセンター全体を含めて工事中です。

理 念

一日も早い社会復帰を願って、
質の高い信頼される医療の
提供に努めます。

基本方針

- 地域内で質の高い医療リハビリテーションを提供します。
- 患者さまの人格・人権を尊重し、患者さまの立場に立った医療サービスを提供します。
- 情報提供と十分な説明を行い、患者さまの信頼と満足に努めます。
- 知識と技術の向上を常に心がけ、医療の質の向上に努めます。
- 業務の効率化に努め、健全で活力のある病院経営を行います。

〒739-0036 東広島市西条町田口295-3番地 発行責任者：水関隆也（医療センター長）
TEL (082)425-1455 FAX (082)425-1094 <http://www.rehab-hiroshima.org>

シリーズ 病気について

脊髄損傷に伴う神経因性膀胱について

泌尿器科医長 薄 井 昭 博

脊髄損傷にともなう排尿障害は有熱性尿路感染症や腎機能障害の原因となります。近年ではその管理方法の進歩により重症例は減少してきていますが、依然として脊髄損傷の大きな合併症の一つです。脊髄損傷の部位、範囲で尿路症状も異なりますが、今回は典型的な状態について記載します。

【排尿に関連する神経調節機構】

排尿は蓄尿時には膀胱排尿筋が弛緩、尿道括約筋が収縮することにより尿が膀胱内に保たれ、排尿時にはその逆の働きにより平滑な排尿が得られます。このことに関連する中枢神経機構は大枠として大脳前頭葉が排尿抑制、脊髄下端の仙髄部が排尿促進、橋脳が排尿協調運動（前述の膀胱および尿道筋の収縮、弛緩調節）に働くとされています。また脊髄損傷では大脳、橋脳と仙髄排尿中枢の関連が障害されることにより排尿調節異常が生じます。当然のことながらこれらの排尿に関する運動神経麻痺と同時に知覚神経異常も起こります。

【症状および合併症】

尿意は消失または下腹部不快感として自覚されます。同時に脊髄中枢に膀胱よりの情報が伝達され、脊髄中枢より反射で排尿筋収縮命令が伝達されるため尿失禁がみられます（反射性尿失禁）。この尿失禁は大脳、橋脳の調節を受けていないため

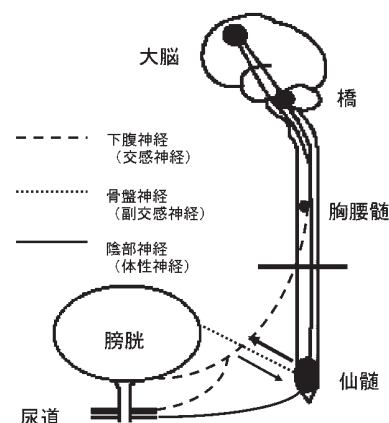


図1

自分で止めることが出来ないと同時に、尿道の調節がなされず結果的に尿道括約筋が開かないまま尿を押し出してしまふ無理をした排尿となります（膀胱尿道協調不全：図1）。

この状態を長く続けると膀胱には負担がかかり次第に膀胱壁が肥厚し次第に膀胱容量の低下、膀胱変形が起こります。さらに膀胱変形が進むと、一度は膀胱にたまった尿が腎臓に逆流する膀胱尿管逆流症がみられるようになります。この結果膀胱内の細菌が腎臓に逆流し、腎臓に細菌が感染すると高熱を伴う腎盂腎炎が発生しやすくなり腎機能障害の原因となります。また膀胱環境の悪化は正常な腎臓から膀胱への尿輸送を障害し、膀胱尿管逆流症がなくても腎臓、尿管に尿が滞ってしまう水腎症の原因となります（図2）。

【尿路管理方法】

1. 下腹部叩打法；上記の膀胱反射を利用して排尿する方法ですが、一部の症例を除き排尿（尿失禁）時の膀胱負荷により上部尿路障害を起こす原因となります。
2. 尿道留置カテーテル；短期的には膀胱より平滑な尿流出が得られますが、膀胱内に異物であるカテーテルが常時存在するため尿路感染の持続は必発で、更にカテーテル周囲への感染叢、尿中物質の付着により結石形成が高率に起こります。またカテーテルによる圧迫が尿道への負担となり尿道周囲の合併症も起こします。これらを通じて長期的にはやはり上部尿路障害の頻度が高くなります。
3. 膀胱瘻；下腹部より直接膀胱へカテーテルを穿刺、挿入する方法です。尿道周囲の問題はありませんが、膀胱内にカテーテルが常時留置されるため上部尿路障害の危険性を低下させることは出来ません。
4. 尿道括約筋切開術；平滑な尿流出が出来ない大きな原因は膀胱尿道強調不全ですので、内視鏡的に尿道の内腔より尿道括約筋を切開する方法です。手術結果がよければ平滑な尿流出が得られますが、常時尿失禁状態があると女性では外陰部の清潔が保たれ難く、男性でも体動の少ない症例では十分な尿流出がえられません。また常時尿失禁となるため集尿器やおむつ使用が必要となります。
5. 間欠（自己）導尿；膀胱内に貯留した尿をカテーテルで排出し、排出が終わったらカテーテルを抜くことにより常時カテーテルを留置することを避ける方法です。1日に数度のカテーテル挿入、抜去が必要となるため手間がかかる方法ですが、尿失禁を消失、減少させ、合併症の頻度も少ないため現在の尿路管理して標準的な方法です。膀胱反射性収縮が強い場合は1日あたりの導尿回数が多くなりますので、膀胱収縮を抑制する内服薬を併用します。しかしながら上肢の麻痺がある場合は介助者による導尿が必要となりますので、その継続性が問題となる場合もあります。

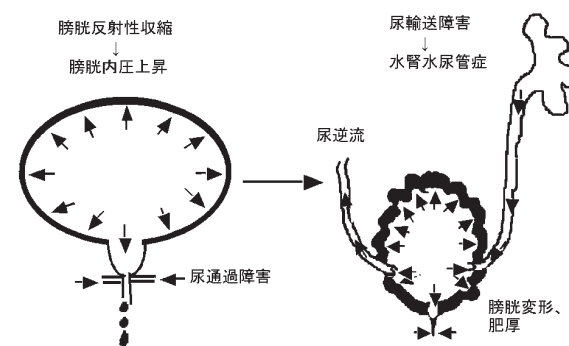


図2

部署紹介シリーズ
第4回は医療情報課です。

各科紹介 医療情報課



医療情報課の理念 患者様に親しまれ信頼されるよう笑顔で優しい応対を目指します。

医療情報課は、リハセンターの職員4人と業務委託しているニチイのスタッフ7人の計11人で仕事をしています。

まず、医療情報課の大きな役割は、患者様と医師を結び付ける役目を持っています。

例えば、初めて来られた患者様が外来で受診される場合、医療情報課の職員が「外来診療録」を作成し、各診療科へ届けることで、初めて患者様と医師が結び付き診療が始まります。この

パイプ役を果たしているのが医療情報課です。

また、「病院・施設を支える屋台骨」とも言われますが、その理由は、診療報酬の算定・請求という大きな役目を担っているためです。

当然診療行為は医師を中心に行われますが、その診療行為を料金化し、その対価を請求しているのが、医療情報課なのです。

しかしながら、医療情報課は、医療保険制度等に精通するだけでなく、他

の部署との連携も大切にしています。それは、医療業務に係る知識をもって、病院運営を効率的に行うための潤滑油的存在でもあると思っているためです。その潤滑油が十分な役目を果たせば、スムーズな病院運営ができると思い日々頑張っています。



クリスマス会

平成23年12月19日(月)に作業療法室でクリスマス会が開催されました。

カラオケ大会やハンドベル等の演奏発表が行われたほか、クッキーへのオリジナルのデコレーションを体験し、皆さん楽しまれていました。

